

研究テーマ:柔軟な教育利用を可能にする大学間を結合したIPv6を基盤とする
超高速ネットワーク環境での遠隔教育に関する実践的研究(1/2)
(プロジェクト番号 JGN2-A16010)

研究機関: 佐賀大学、長崎大学、広島市立大学、広島大学
和歌山大学、香川大学

研究の概要:

JGN2を利用して、地理的に分散した大学間において、教師や学生の地理的な場所に制約されることなく、柔軟に講義やゼミなどの教育利用が行える環境を構築し、DVやHDTVによる高精細映像を用いた遠隔講義やゼミを実際に行うことで、実証的に検証を行っている。

研究の目的:

地理的に分散した大学間において、教師や学生の地理的な場所に制約されることなく、柔軟に講義やゼミなどの教育利用が行える環境を構築し、実際に講義やゼミを行うことで、実証的に検証を行い、遠隔教育の到達度や問題点を検証することが、本研究の目的である。

また、本研究では、IPv6アプリケーションのみを利用する。これにより、学校でIPv6を導入する際の課題を明らかにし、将来のIPv6の教育利用を展望することも、本研究の目的である。

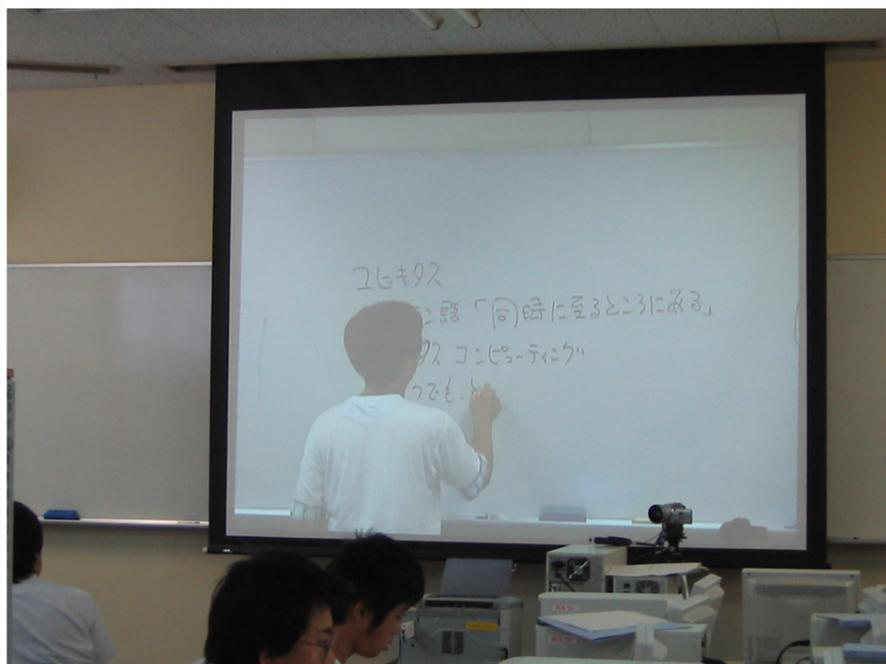
実験機器構成:



研究テーマ:柔軟な教育利用を可能にする大学間を結合したIPv6を基盤とする
超高速ネットワーク環境での遠隔教育に関する実践的研究(2/2)
(プロジェクト番号 JGN2-A16010)

研究機関: 佐賀大学、長崎大学、広島市立大学、広島大学
和歌山大学、香川大学

研究開発成果:



プロジェクトのアピールポイント

地理的に離れた大学間で講義が行えることを示したことで、大学間での講義の共有、共同講義の実践に向けて、可能性を示すことができた。特に長崎大学教育学部の科目「インターネット活用」の講義を、DVやHDTVを用いて遠隔で4年間継続して行い、単位を出したことは、大きな成果である。

プロジェクトの自己評価

超高速ネットワークにおいて高精細映像を利用することで、板書を含む教育内容を、遠隔地に十分に伝えることができ、通常の同一教室内で行う講義と変わらない品質で、遠隔講義を行うことができることを示した。定期的に遠隔ゼミ、講義を行うことで、実証的に成果を検証した。

地理的に離れた大学間で講義を行うことを示したことで、大学間での講義の共有、共同講義の実践に向けて、可能性を示すことができた。